

市民アンケート結果

回収数 810/2000

回収率 40.5%

【調査対象】

18歳以上の調布市民の方々から2000名を無作為抽出によって選出

【調査方法】

郵送による配布・回収

【調査期間】

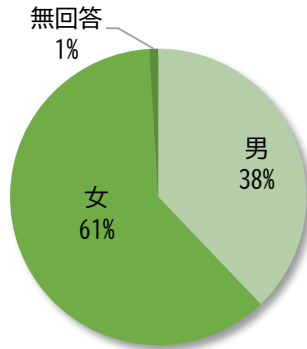
令和元年（2019年）9月5日（木）～9月20日（金）

【基本情報 問1～問7】

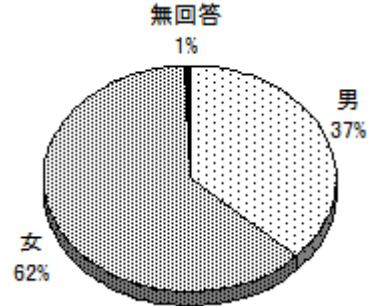
問1 性別

◆女性回答者が61%と多いことがわかります。

男	306
女	496
無回答	8



【平成15年度アンケート結果グラフ】



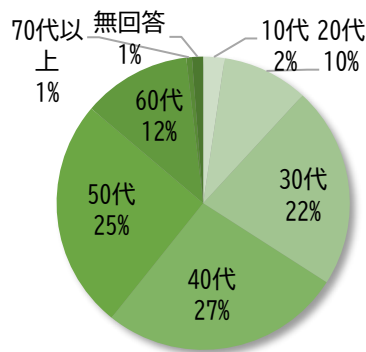
【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

回答者の割合はほぼ変動がなく、女性回答者が多いことがわかります。

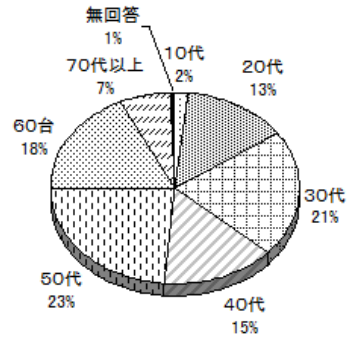
問2 年齢

◆40代回答者が最も多く、幅広い年代が回答しています。

10代	19
20代	77
30代	180
40代	216
50代	206
60代	97
70代以上	5
無回答	10



【平成15年度アンケート結果グラフ】



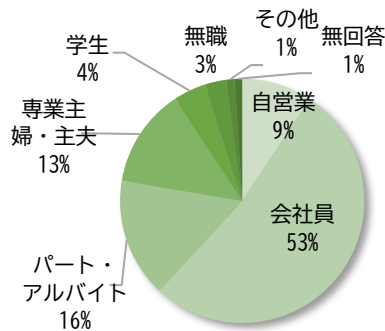
【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

40代回答者数が+12%と大幅に増加しています。また30代が+1%，50代が+2%と増加していますが、20代が▲3%，60代が▲6%，70代以上が▲6%と減少しています。

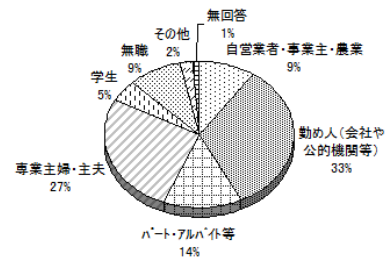
問3 職業

◆「会社員」「パート・アルバイト」「自営業」が合計78%と、働いている回答者が多くなっています。

自営業	76
会社員	425
パート・アルバイト	128
専業主婦・主夫	106
学生	35
無職	23
その他	9
無回答	8



【平成15年度アンケート結果グラフ】



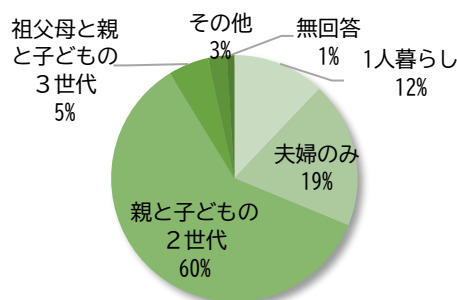
【平成15年(2003年)アンケート結果との比較】

「会社員(勤め人)」が+20%となっています。また「専業主婦・主夫」が▲14%となっており、夫婦での共働き家庭が増加していると考えられます。

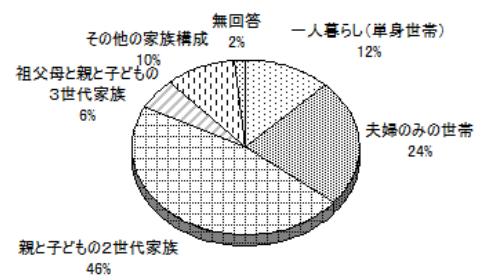
問4 同居者

◆「親と子どもの2世代」「夫婦のみ」と回答した人が多く、さらに女性回答者が多いことから、子育てしながら働く人や夫婦共働きの家庭が多いと考えられます。

1人暮らし	98
夫婦のみ	155
親と子どもの2世代	486
祖父母と親と子ども3世代	43
その他	20
無回答	8



【平成15年度アンケート結果グラフ】



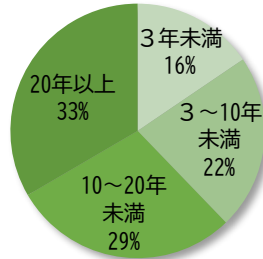
【平成15年(2003年)アンケート結果との比較】

「親と子どもの2世代」が+14%と大幅に増加しています。また「夫婦のみ」の世帯が▲5%となっており、子どもを持つ家庭の割合が増えています。

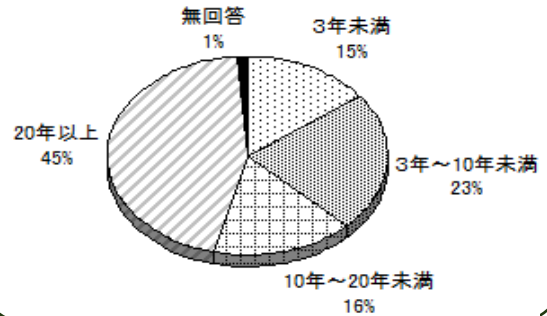
問5 居住年数

◆「20年以上」と回答した人が33%と最も多く、10年以上居住している回答者は全体の62%となり、調布市に長く住んでいる人が多いことがわかります。

3年未満	124
3～10年未満	178
10～20年未満	230
20年以上	267
無回答	0



【平成15年度アンケート結果グラフ】



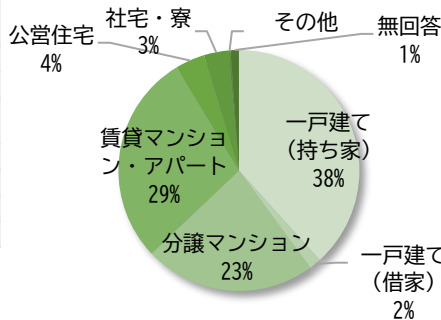
【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「20年以上」が▲12%となっており、「10～20年未満」が+13%となっています。

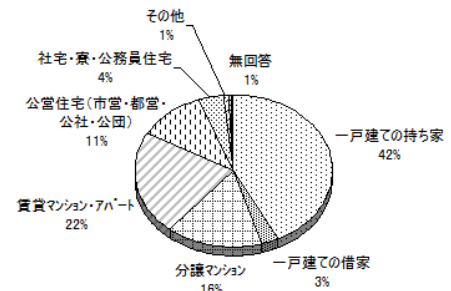
問6 住宅形態

◆「一戸建て（持ち家）」と回答した人が38%と、最も多くなっています。

一戸建て（持ち家）	310
一戸建て（借家）	13
分譲マンション	186
賃貸マンション・アパート	230
公営住宅	32
社宅・寮	27
その他	2
無回答	9



【平成15年度アンケート結果グラフ】

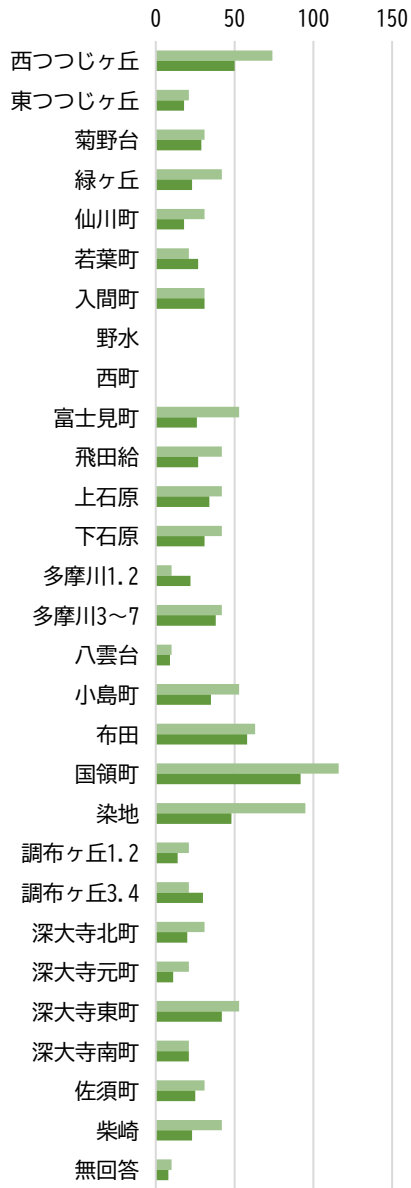


【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

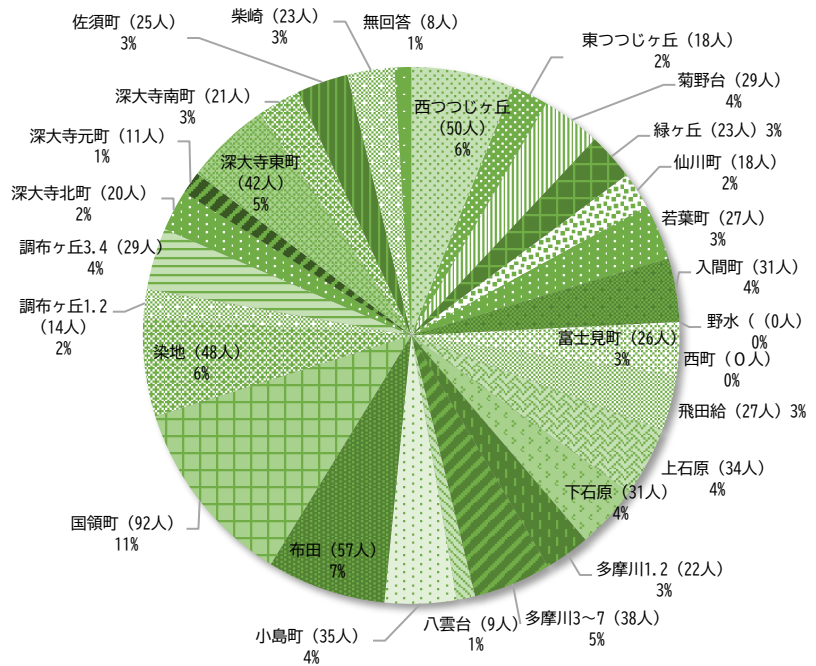
「一戸建て（持ち家）」が▲4%、「公営住宅」が▲7%となっているのに対し、「分譲マンション」が+7%、「賃貸マンション・アパート」が+7%となっています。

問7 住んでいる町名

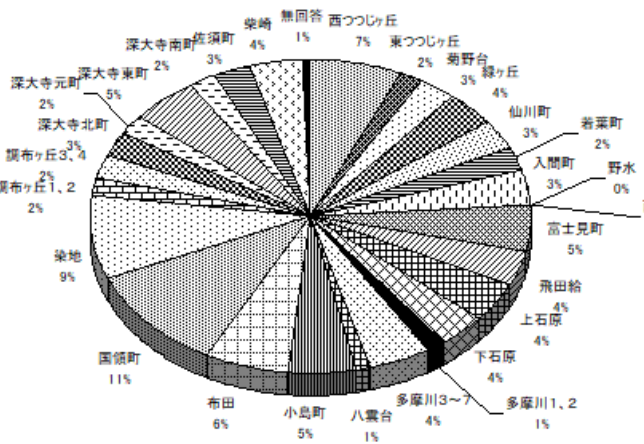
◆「国領町」に住んでいる人が多く、次いで「西つつじヶ丘」が多くなっています。



■平成15年 ■令和元年



【平成15年度アンケート結果グラフ】



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

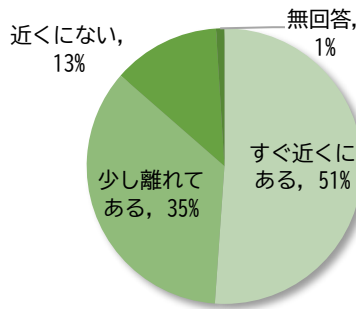
全体的に横ばいとなっています。

【農業関心について 問8～問11】

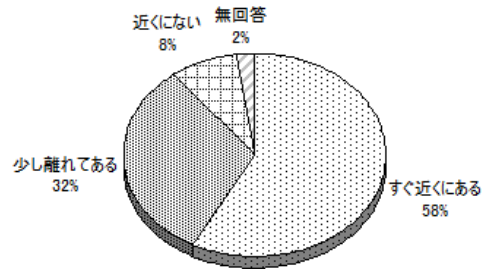
問8 家の近くに農地はありますか？

◆「すぐ近くにある」と回答した人が51%となっています。

	回答数	割合
すぐ近くにある	414	51%
少し離れてある	286	35%
近くにない	102	13%
無回答	8	1%



【平成15年度アンケート結果グラフ】



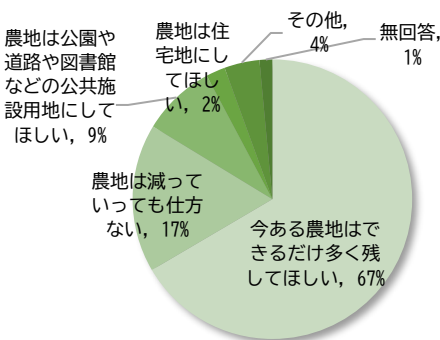
【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「すぐ近くにある」が▲7%となっており、「少し離れてある」「近くにない」が合計+8%となっています。

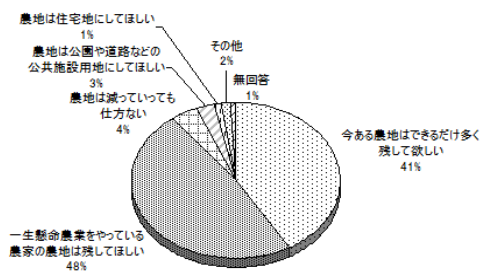
問9 農地が年々減少傾向にあります。あなたは調布市の農地についてどのようにお考えですか？

◆67%の人が「今ある農地はできるだけ多く残して欲しい」と回答していますが、「農地は減っていても仕方ない」という回答も17%となっています。

	回答数	割合
今ある農地はできるだけ多く残してほしい	539	67%
農地は減っていても仕方ない	139	17%
農地は公園や道路や図書館などの公共施設用地にしてほしい	69	9%
農地は住宅地にしてほしい	18	2%
その他	33	4%
無回答	12	1%



【平成15年度アンケート結果グラフ】



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「農地は減っていても仕方ない」が+13%、「農地は公園や道路や図書館などの公共施設用地にしてほしい」が+6%となっています。

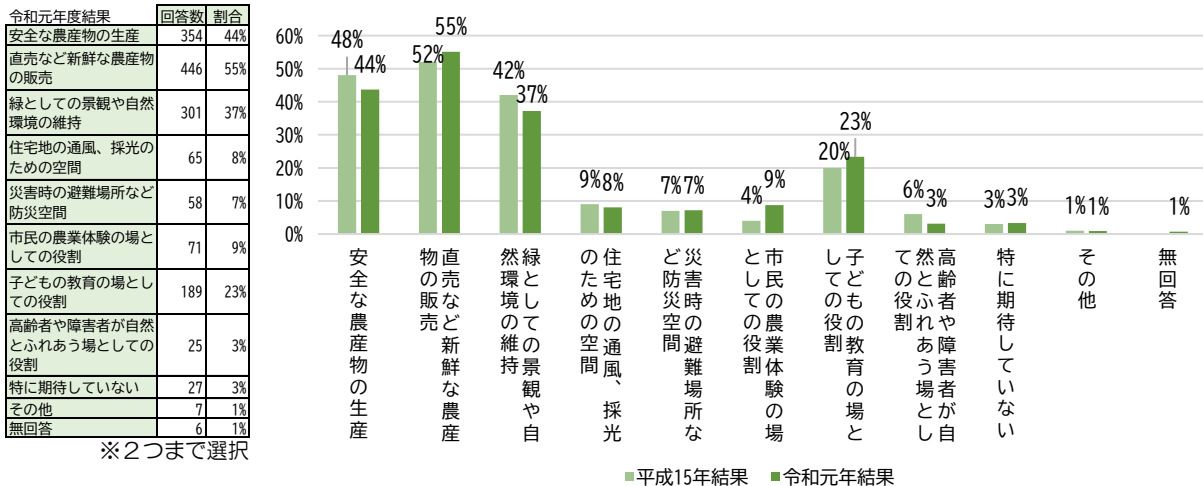
《その他意見》

- 明らかに使用していない農地は宅地化や公共施設にしてほしい・・・3件
- 駅に近い農地は住宅・商業施設にしてほしい・・・2件

他

問10 あなたの周りの農業・農地について期待していることは何ですか？

◆「安全な農産物の生産」と回答した人が44%、「直売など新鮮な農産物の販売」と回答した人が55%と、安全安心な農産物を求める回答が多くなっています。次いで「景観や自然環境の維持」と回答した人が37%、「子どもの教育の場としての役割」と回答した人が23%となっています。

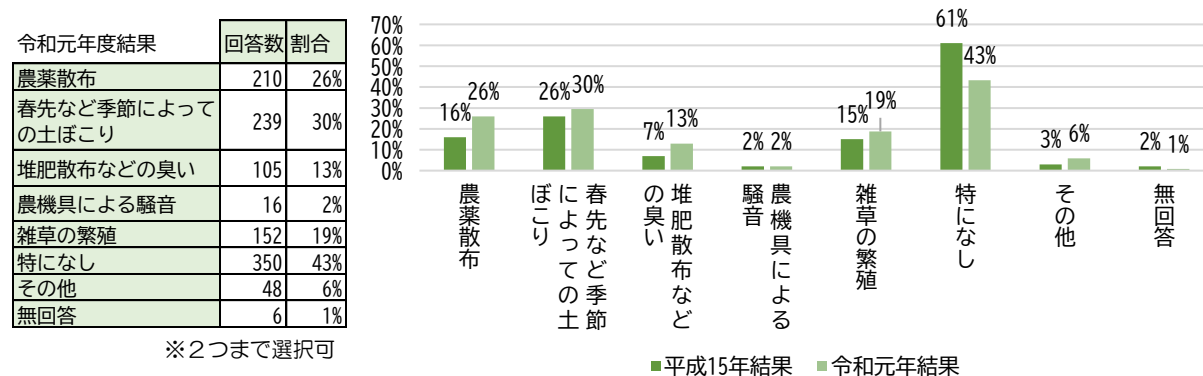


【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

平成15年度・本年度ともに「直売など新鮮な農産物の生産」「安全な農産物の生産」「緑としての景観や自然環境の維持」と回答した人が多くなっています。

問11 あなたの周りの農業・農地について気になることは何ですか？

◆「特になし」と回答した人が43%いる一方で、無回答を除くと56%もの回答者が何かしら気になることがあるということになります。特に「農薬散布」と「春先など季節によつての土ぼこり」と回答した人が多い結果となりました。



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「特になし」が▲18%と減少しています。

《その他意見》

- 虫、害虫が多い・発生する・・・5件
- 夜道が怖い、治安に不安・・・5件
- たき火、野焼き、灰が舞う、灰の付着・・・4件

他

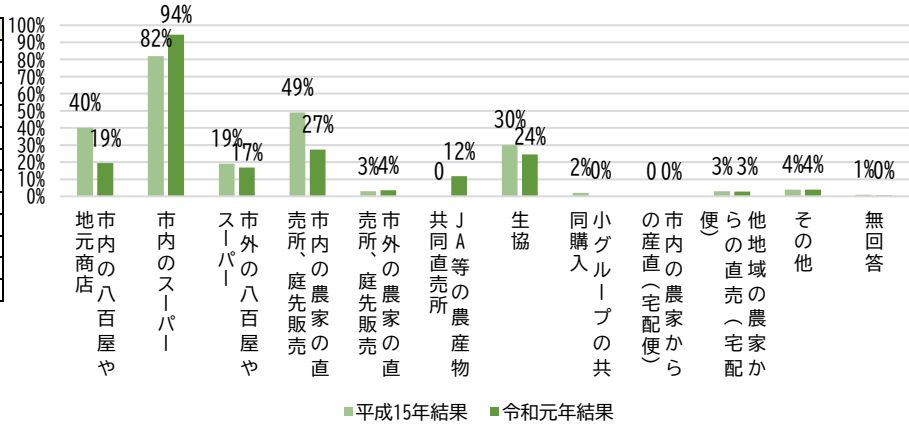
【購入消費について 問12～問24】

問12 日頃、野菜などの農産物をどこで購入しますか？

◆「市内のスーパー」で購入している回答者が94%と、高い数値になっています。

令和元年度結果	回答数	割合
市内の八百屋や地元商店	157	19%
市内のスーパー	765	94%
市外の八百屋やスーパー	136	17%
市内の農家の直売所、庭先販売	221	27%
市外の農家の直売所、庭先販売	29	4%
JA等の農産物共同直売所	96	12%
生協	198	24%
小グループの共同購入	2	0%
市内の農家からの産直（宅配便）	0	0%
他地域の農家からの直売（宅配便）	23	3%
その他	32	4%
無回答	4	0%

※3つまで選択可



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「市内のスーパー」が+12%となっています。対して「市内の八百屋や地元の商店」での購入者は▲21%、「市内の農家の直売所」「市内の農業の直売所、庭先販売」では▲22%と大幅に減少しています。

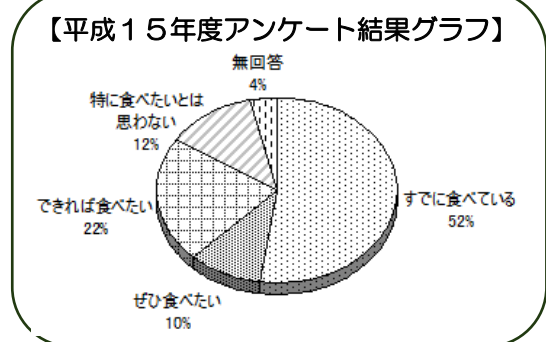
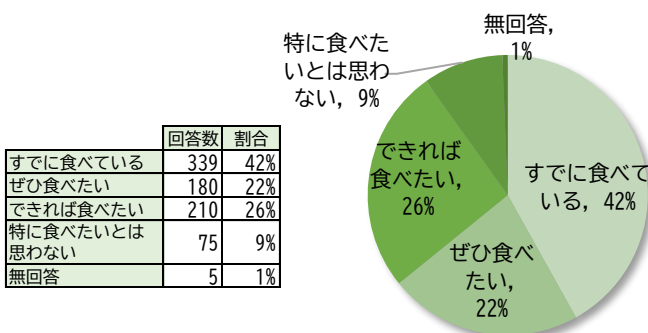
◀その他意見▶

- その他宅配（ポラン広場の宅配・大地を守る会宅配等）・・・3件
- 会社の近く、会社帰り・・・2件
- ふるさと納税・・・1件

他

問13 調布市で生産された農産物を食べたいと思いますか？

◆「すでに食べている」と回答した人が42%と多く、「ぜひ食べたい」「できれば食べたい」と回答した人が合計で48%となっており、市内農産物への需要は高いと考えられます。



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

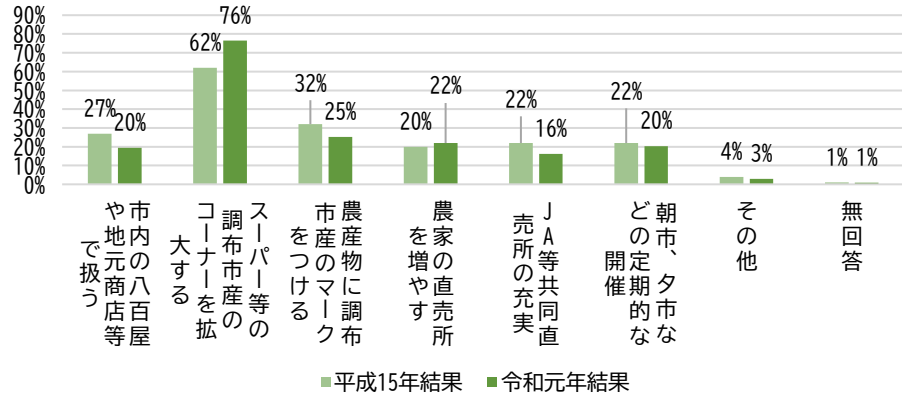
「すでに食べている」が▲10%となっており、「ぜひ食べたい」「できれば食べたい」がそれぞれ増加しています。さらに「特に食べたいとは思わない」が▲3%となっています。

問14 調布市農産物を手に入れやすくするために必要なことは何だと思えますか？

◆「スーパー等の調布市産のコーナーを拡大する」と回答した人が76%となっており、回答者が手軽に手に入れられる方法に意見が集まっています。

令和元年度結果	回答数	割合
市内の八百屋や地元商店等で扱う	158	20%
スーパー等の調布市産のコーナーを拡大する	619	76%
農産物に調布市産のマークをつける	204	25%
農家の直売所を増やす	178	22%
JA等共同直売所の充実	131	16%
朝市、夕市などの定期的な開催	165	20%
その他	24	3%
無回答	7	1%

※2つまで選択可



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「スーパー等の調布市産のコーナーを拡大する」が+14%となっており、気軽な市内農産物の入手に対する需要が高まっています。

◀その他意見▶

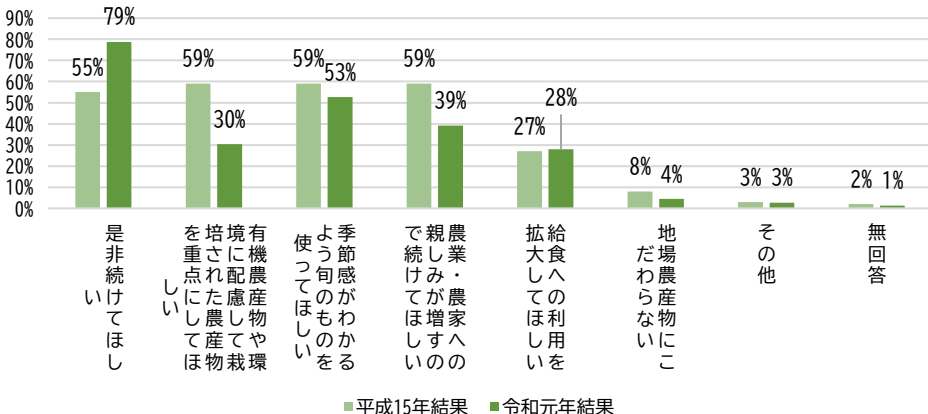
- 価格を下げる・・・8件
- コンビニや24時間購入できるロッカー式の導入、直売所の時間延長・・・8件

問15 小中学校の給食に一部地場農産物を使っていますが、これについて思うことはありますか？

◆「是非続けて欲しい」と回答した人が79%と最も多く、次いで「季節感がわかるような旬のものを使って欲しい」と回答した人が53%、「農業・農家への親しみが増すので続けて欲しい」と回答した人が39%と、期待の大きさが伺えます。

令和元年度結果	回答数	割合
是非続けてほしい	638	79%
有機農産物や環境に配慮して栽培された農産物	246	30%
季節感がわかるような旬のものを使ってほしい	426	53%
農業・農家への親しみが増すので続けてほしい	317	39%
給食への利用を拡大してほしい	227	28%
地場農産物にこだわらない	36	4%
その他	22	3%
無回答	10	1%

※いくつでも選択可



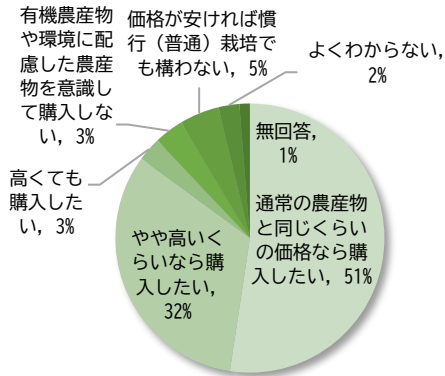
【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「是非続けてほしい」の回答が+24%と大幅に増加しています。対して「有機農産物や環境に配慮して栽培された農産物を重点にしてほしい」が▲29%、「農業・農家への親しみが増すので続けて欲しい」が▲20%と、大幅に減少しています。

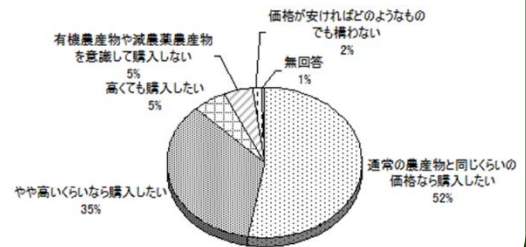
問 1 6 有機農産物や環境に配慮した農産物を購入したいと思いますか？

◆「通常の農産物と同じくらいの価格なら購入したい」と回答した人が51%と最も多く、有機農産物などの価格が高いイメージを持っていると考えられます。

	回答数	割合
通常の農産物と同じくらいの価格なら購入したい	417	51%
やや高いくらいなら購入したい	260	32%
高くても購入したい	23	3%
有機農産物や環境に配慮した農産物を意識して購入しない	28	3%
価格が安ければ慣行（普通）栽培でも構わない	38	5%
よくわからない	20	2%
無回答	10	1%



【平成15年度アンケート結果グラフ】



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

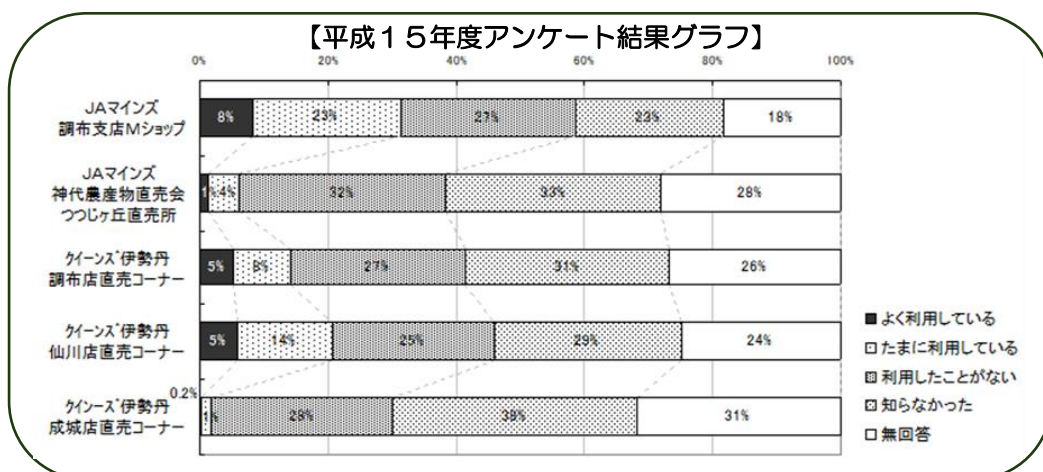
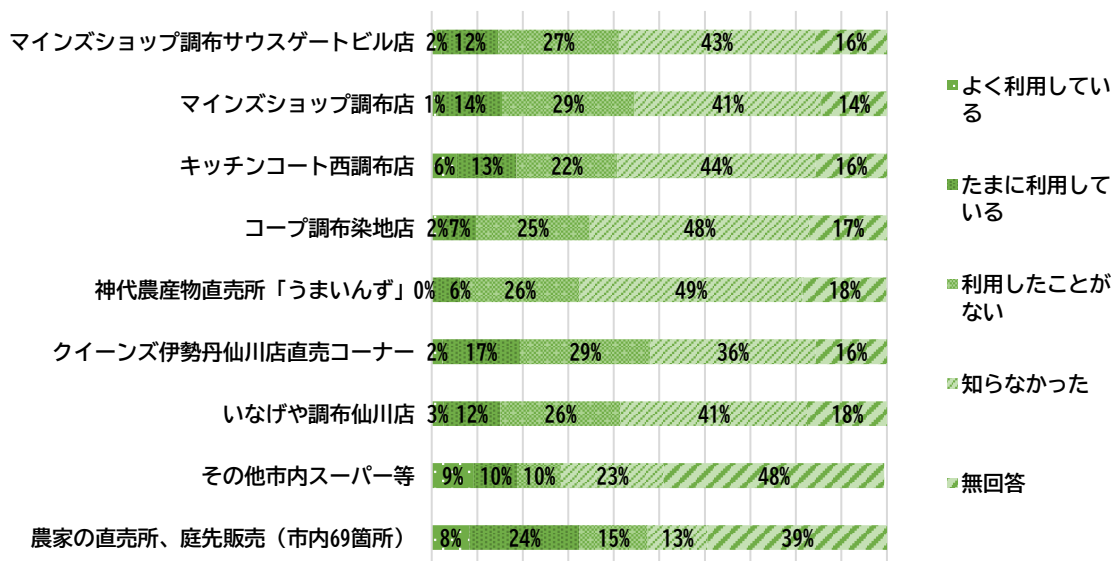
全ての数値がほぼ横ばいとなっています。依然として、市民にとって有機農産物は値段が高く、手を出しにくくなっていると考えられます。

問 17 調布市内にある直売の利用状況を教えてください

◆「農家の直売所、庭先販売（市内69箇所）」を除いて、「知らなかった」という回答が全直売所で多くなっています。

単位：回答数

	よく利用している	たまに利用している	利用したことがない	知らなかった	無回答
マインズショップ調布サウスゲートビル店	17	101	215	349	128
マインズショップ調布店	10	115	236	332	117
キッチンコート西調布店	45	106	179	353	127
コープ調布染地店	20	59	202	391	138
神代農産物直売所「うまいんず」	1	50	212	397	149
クイーンズ伊勢丹仙川店直売コーナー	19	138	232	294	127
いなげや調布仙川店	21	101	214	332	142
その他市内スーパー等	75	77	78	183	392
農家の直売所、庭先販売（市内69箇所）	67	196	121	107	319



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

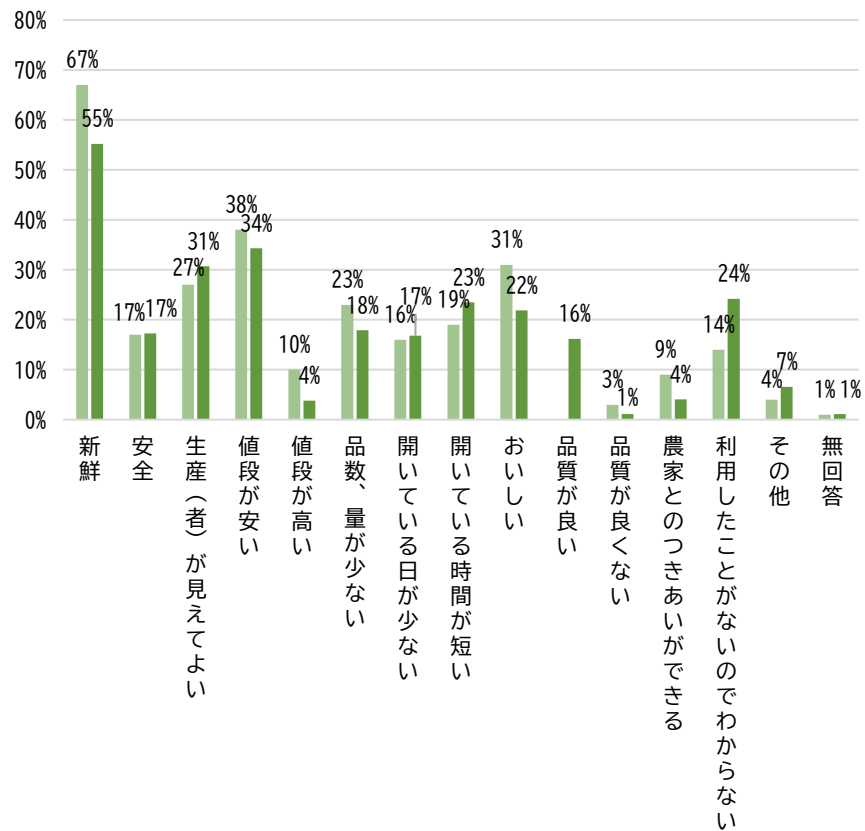
対象の直売所が大きく変わりましたが、「知らなかった」の割合が平成15年度アンケートよりも増加しており、市民へPRをする必要があると考えられます。

問 18 直売所，庭先販売について感じていることは何ですか？

◆「新鮮」と回答した人が55%と最も高い割合となっており，鮮度への期待の高さが伺えます。

令和元年度結果	回答数	割合
新鮮	447	55%
安全	140	17%
生産（者）が見えてよい	249	31%
値段が安い	278	34%
値段が高い	31	4%
品数、量が少ない	145	18%
開いている日が少ない	136	17%
開いている時間が短い	190	23%
おいしい	177	22%
品質が良い	131	16%
品質が悪くない	9	1%
農家とのつきあいができる	33	4%
利用したことがないのでわからない	196	24%
その他	53	7%
無回答	9	1%

※いくつでも選択可



■平成15年 ■令和元年

【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「新鮮」が▲12%となっていますが，「利用したことがないのでわからない」が+10%となっています。

◀その他意見▶

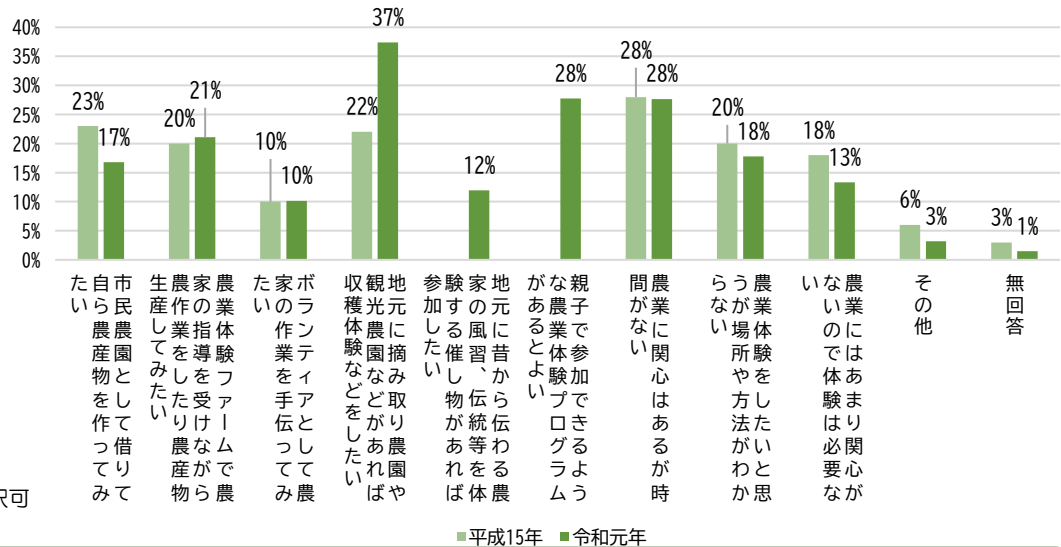
- 売り場が暗い，汚い，農薬使用など安全性への不安・・・9件
- 遠い，駐車スペースがない，駅や家から近ければ使ってみたい・・・8件
- どこにあるのかわからない・・・5件

他

問 19 どのように農業体験をしたいですか？

◆「地元で摘み取り農園や観光農園などがあれば収穫体験などをしたい」と回答した人が37%と最も多くなっています。また「農業体験をしたいと思うが場所や方法がわからない」と回答した人が18%と、どのように農業体験に参加すればいいのかがわからない人が、一定数いることがわかります。

令和元年度結果	回答数	割合
市民農園として借りて自ら農産物を作ってみたい	136	17%
農業体験ファームで農家の指導を受けながら農作業をしたり農産物生産してみたい	171	21%
ボランティアとして農家の作業を手伝ってみたい	82	10%
地元で摘み取り農園や観光農園などがある場合は収穫体験などをしたい	303	37%
地元で昔から伝わる農家の風習、伝統等を体験する種し物があれば参加したい	97	12%
親子で参加できるような農業体験プログラムがあるとよい	225	28%
農業に関心はあるが時間が足りない	224	28%
農業体験をしたいと思うが場所や方法がわからない	144	18%
農業にはあまり関心がないので体験は必要ない	108	13%
その他	26	3%
無回答	12	1%



※いくつでも選択可

【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「地元で摘み取り農園や観光農園があれば収穫体験などをしたい」が+15%となっています。

◀その他意見▶

○ 農業体験をしたいが、体の一部が悪く難しい・・・4件

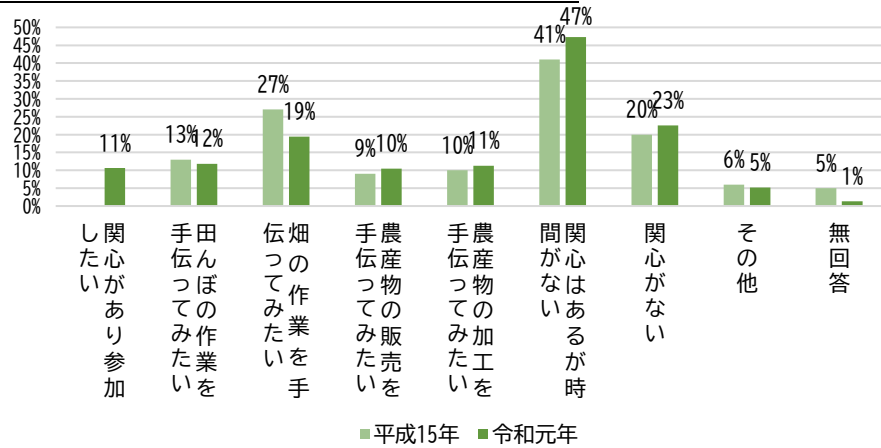
他

問20 援農ボランティアについてどう思いますか？

◆「関心はあるが時間がない」と回答した人が47%と最も多く、次いで「関心がない」と回答した人が23%と、援農ボランティアに関して消極的な回答が多くなっています。

令和元年度結果	回答数	割合
関心があり参加したい	86	11%
田んぼの作業を手伝ってみたい	96	12%
畑の作業を手伝ってみたい	157	19%
農産物の販売を手伝ってみたい	85	10%
農産物の加工を手伝ってみたい	91	11%
関心はあるが時間がない	383	47%
関心がない	183	23%
その他	42	5%
無回答	11	1%

※いくつでも選択可



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

援農ボランティアに消極的な回答が増加しています。

≪その他意見≫

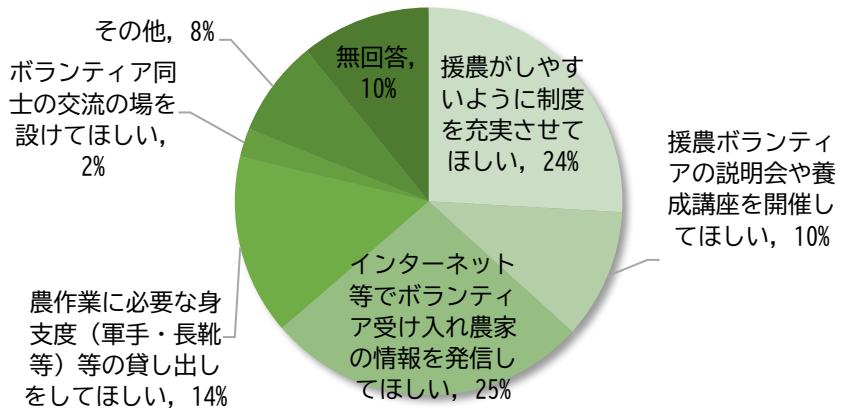
- 賃金や対価を払うべき、無料は反対・・・4件
- 知人が昔やっていたが後日、実は足手まといだったといわれショックを受けていた

他

問 2 1 援農ボランティアへ参加する上で市や農家に対して望むこと

◆「インターネット等でボランティア受け入れ農家の情報を発信してほしい」と回答した人が25%と、インターネットを利用して情報を手に入れたい人が多くみられました。また「援農がしやすいように制度を充実させてほしい」と回答した人が24%と多くなっています。

	回答数	割合
援農がしやすいように制度を充実させてほしい	196	24%
援農ボランティアの説明会や養成講座を開催してほしい	82	10%
インターネット等でボランティア受け入れ農家の情報を発信してほしい	204	25%
農作業に必要な身支度（軍手・長靴等）等の貸し出しをしてほしい	114	14%
ボランティア同士の交流の場を設けてほしい	18	2%
その他	61	8%
無回答	82	10%



《その他意見》

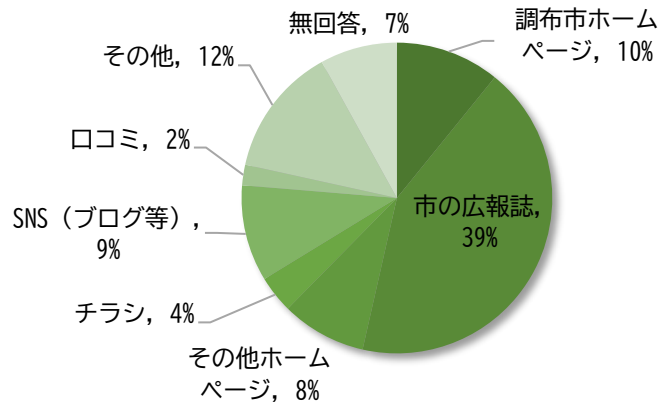
- 関心がない，興味がない，特に望むことはない・・・16件
- 農業へ関心や気持ちのある人々へ，農業に向く土地などを譲渡してほしい・・・1件
- 土日のみのような参加ができる制度・・・1件

他

問 2 2 ボランティアの情報をどのように入手していますか？

◆「市の広報誌」と回答した人が39%と最も多くなっています。また、その他回答のほとんどが「入手していない」という回答になっています。

	回答数	割合
調布市ホームページ	81	10%
市の広報誌	319	39%
その他ホームページ	66	8%
チラシ	29	4%
SNS（ブログ等）	75	9%
口コミ	16	2%
その他	101	12%
無回答	60	7%



《その他意見》

- 入手しようとしたことがない、関心・興味が無く入手してない・・・93件
- 市の広報誌で手に入れているが不足である・・・1件

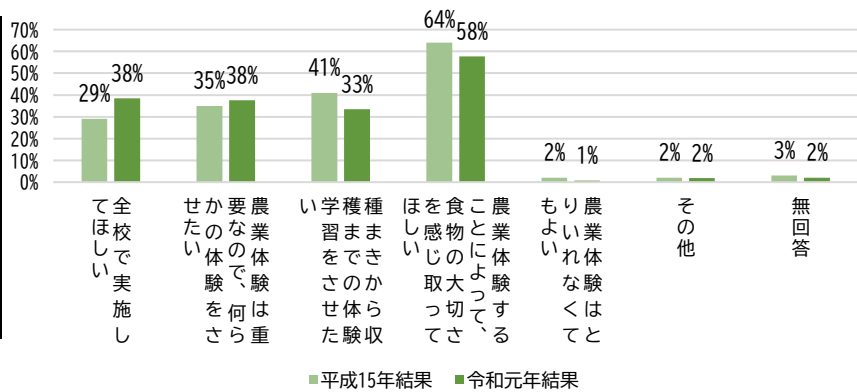
他

問 2 3 小学校での農業体験についてどう思いますか？

◆「農業体験することによって、食物の大切さを感じ取ってほしい」と回答した人が58%と、農業に触れること、食育への関心が高くなっていることがわかります。また「全校で実施してほしい」「農業体験は重要なので、何らかの体験をさせたい」と回答した人が38%となっています。

令和元年度結果	回答数	割合
全校で実施してほしい	311	38%
農業体験は重要なので、何らかの体験をさせたい	304	38%
種まきから収穫までの体験学習をさせたい	271	33%
農業体験することによって、食物の大切さを感じてほしい	467	58%
農業体験はとりいれなくてもよい	6	1%
その他	15	2%
無回答	16	2%

※2つまで選択可



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「全校で実施してほしい」が+9%となっている。

《その他意見》

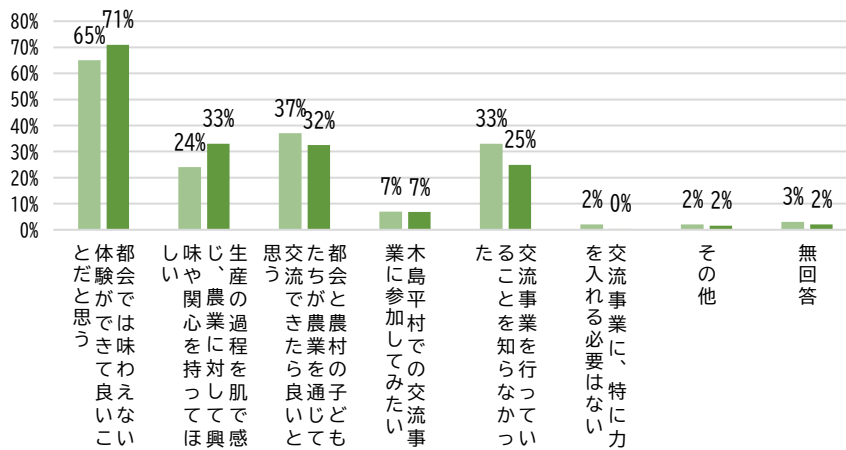
- やりたい子にやってあげて欲しい、希望者に実施してほしい・・・3件
- 私立小学校の子どもにも実施して欲しい・・・2件

他

問24 調布市は豊かな自然に恵まれた長野県木島平村と姉妹都市となり、交流事業を行っています。農業を通じた姉妹都市交流について、どう思いますか？

◆「都会では味わえない体験ができて良いことだと思う」と回答した人が71%と最も多いものの、「交流事業を行っていることを知らなかった」と回答した人が25%となっています。

令和元年度結果	回答数	割合
都会では味わえない体験ができて良いことだと思う	575	71%
生産の過程を肌で感じ、農業に対して興味や関心を持ってほしい	267	33%
都会と農村の子どもたちが農業を通じて交流できたら良いと思う	263	32%
木島平村での交流事業に参加してみたい	55	7%
交流事業を行っていることを知らなかった	202	25%
交流事業に、特に力を入れる必要はない	3	0%
その他	13	2%
無回答	17	2%



※2つまで選択可

■平成15年結果 ■令和元年結果

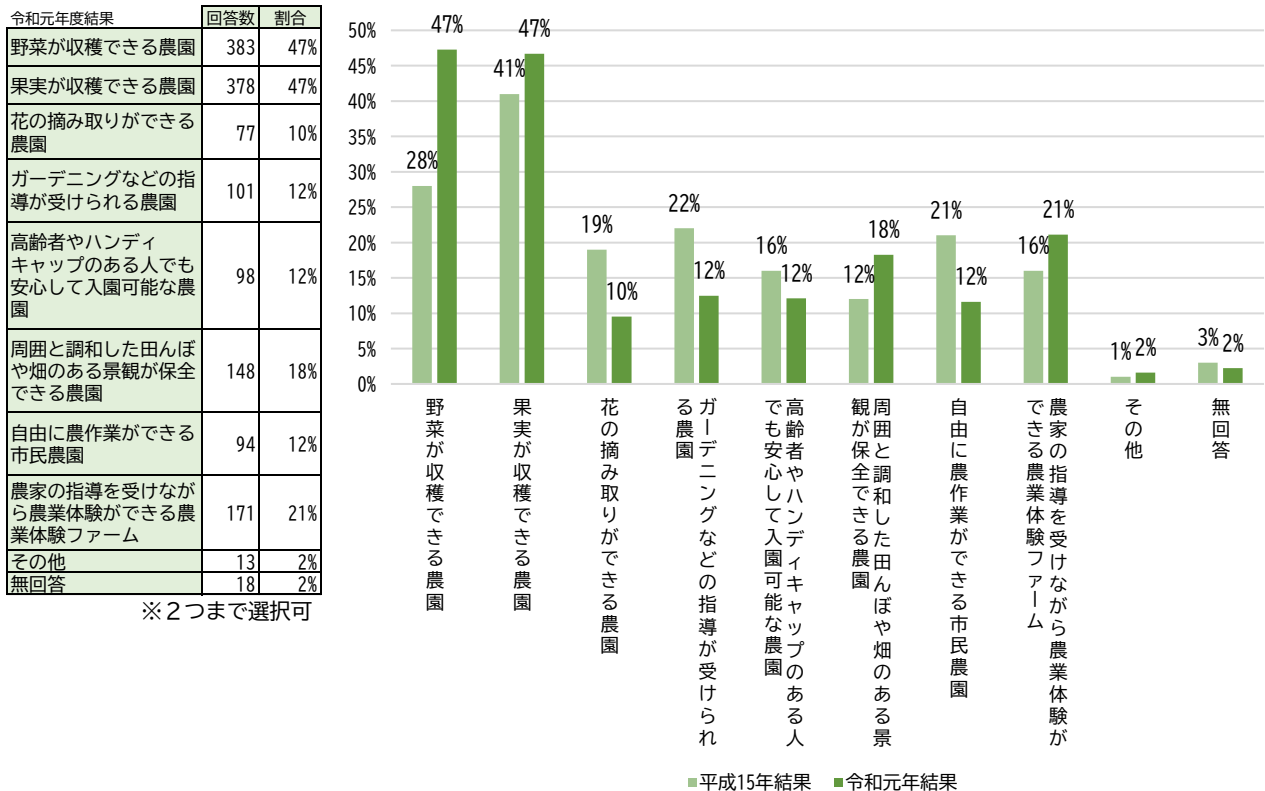
【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「交流事業を行っていることを知らなかった」が▲8%となっており、引き続きPRに力を入れることで多くの人への理解を得られることが期待できます。

【今後の農業について 問25, 問26】

問25 調布市内にあったら良いと思う農園や充実したら良いと思う農園は、どのような農園ですか？

◆「野菜が収穫できる農園」「果実が収穫できる農園」と回答した人がそれぞれ47%と、収穫体験のできる農園を希望する人が多くなっています。次いで「農家の指導を受けながら農業体験ができる農業体験ファーム」と回答した人が21%となっています。



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「野菜が収穫できる農園」が+19%と大幅に増加しています。また「果実が収穫できる農園」も+6%となっていますが、「花の摘み取りができる農園」が▲9%、「ガーデニングなどの指導が受けられる農園」が▲10%と減少しています。

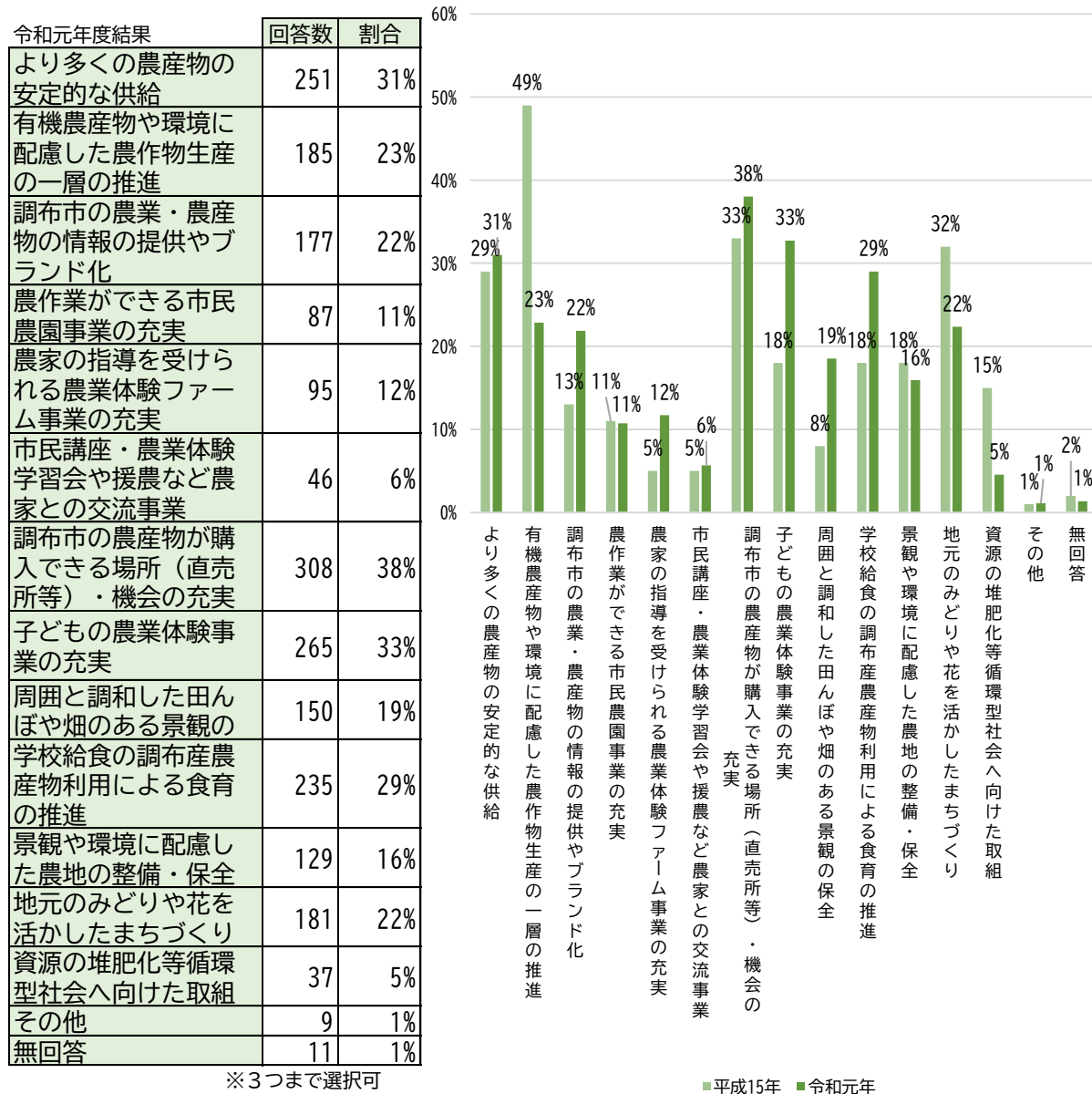
◀その他意見▶

- 収穫した野菜果実を使った料理やお菓子を楽しめるカフェ等・・・2件
- 犬も入れる農園・・・1件

他

問 26 これからの調布市の農業施策で充実してほしいことは何ですか？

◆「調布市の農産物が購入できる場所（直売所等）・機会の充実」と回答した人が38%となっており、調布市農産物の購入のしやすさが求められています。次いで「子どもの農業体験事業の充実」と回答した人が33%、「より多くの農産物の安定的な供給」と回答した人が31%となっています。



【平成15年（2003年）アンケート結果との比較】

「有機農産物や環境に配慮した農産物生産の一層の推進」が▲26%と大幅に減少しています。一方で「子どもの農業体験事業の充実」が+15%、「学校給食の調布市産野菜利用」が+11%となっており、子どもの食育への関心が高いことがわかります。また「調布市農業・農産物の情報の提供やブランド化」が+9%となっています。